

地域で見守る 子育て!子育て!

テレビが子どもに与える影響って?

テレビや携帯などの明るい画面での動画は子どもの目を引きやすく、子どもは画面を集中して見ていることがあります。大人も育児や家事に忙しく、ついテレビなどを長時間見せてしまうことがあるかもしれません。

しかし、映像の見過ぎは親子の関わりや他の活動へも影響があり、1歳6か月児における意味のある言葉の出現の遅れと関係があることが示されています。

乳幼児期は言語発達に重要な時期であり、テレビなどの影響について大人も認識していく必要があります。そのため、下記のことにご注意しましょう。

- ◎2歳まではテレビやビデオを長時間見せないようにしましょう。
- ◎テレビはつけっぱなしにせず、見たら消しましょう。
- ◎授乳や食事中はテレビをつけないようにしましょう。

親子で関わる時間を大切にしましょう



問合せ先 いきいき広場内保健福祉グループ ☎52-9871

コラム

認知症とこれから

今月のテーマ

「困ったら話題を変えてみる」

認知症の人は、ひとつのことが気になると、それにこだわります。認知症になると、置き忘れやしまい忘れから探し物が増えます。探しても出てこない、自分がなくすわけがない…という不安から、真剣に、一生懸命に探します。

大事にしまっておいたものがない、隠しておいたものがまたなくなっている…実際には隠した場所を忘れてしまうからなのですが、こだわりが続き「物盗られ妄想」に発展することもあります。特定の人を泥棒と思い込み、攻撃するので困ります。周囲が事実を説明しても、なかなかわかってもらえません。

探し物の合間に、ちょっと息をついたとき「お茶飲む?」とか、「おまんじゅう食べる?」と楽しい話題に変えて気持ちをそらしてみてもどうでしょうか。

認知症の人は短期記憶障害のためにさっきのことはすぐに忘れるので、注意が分断されると、もともとしていたことから気がそれます。少しの休息を促し、探すのをやめたとき、さりげなく見つかるように手伝ってみてはどうでしょうか。



認知症についての相談
はこちらへ

いきいき広場内福祉まるごと相談グループ ☎52-9610

認知症介護相談(認知症の人と家族の会)平日 月～金曜日午前10時～午後4時 ☎0562-31-1911